

高橋 中長
高橋 三平
高橋 三平

五
山田ヨリ中長
本日貴電ノ趣旨御了解ニ付
閣下双方ノ意見ニ大ニ同意
閣下御意見ノ最低債額
労働債額及待遇等ヲ親
約締結ノ際御意見ノ最低債額ヲ決定スルコトトシテ
証書件ノ協定ニ九日調印ス

田中ヨリ中長
閣下御意見ノ最低債額
労働債額及待遇等ヲ親
約締結ノ際御意見ノ最低債額ヲ決定スルコトトシテ
証書件ノ協定ニ九日調印ス

田中 大使
田中 大使



労働者ノ賃銀食料及其他ノ物質ノ値段
注居等ノ月現在ノ低賃更ニ付
本年協定間ノ交渉結果ハコト
レニ付トコラスニ労働者ノ最低
調停ニ依リ
三、露國労働法ヲ實施ス
四、此ノ協定ハ三月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効
トス
五、此ノ協定ハ履行ハハロフムノ極東鐵山労働
組合代表者ニ委任ス
六、団体契約ハ九月中ニ協議ス
先方ハ六月ノ労働大會ニ付
レテ協定ノ調査モル為ト思ハ
テ山田 小西 斎藤 中長 奉命

MT 1710372

486

MT 1710372

485

五
田中 大使
田中 大使

要再回

特使



公文書	文書課發送	大正十五年一月十日附在考大使館來往電報第 十七號寫並附屬掛電	御參考ノ爲別紙送付ス
件名	受信人名	發信人名	名込級
新機交際同件	海軍省 高平 三井 山本	廣田 陸軍大臣	石田
機密 第六二號	大正十五年一月十日附	附屬書	通
主管	主任	正校(原稿)	淨書
歐米局長	大正十五年一月十日	一月十日	一月十日

MT 1710372 488

要再回

特使



公文書	文書課發送	大正十五年一月十日附在考大使館來往電報第 十七號寫並附屬掛電	御參考ノ爲別紙送付ス
件名	受信人名	發信人名	名込級
新機交際同件	海軍省 高平 三井 山本	廣田 陸軍大臣	石田
機密 第四七號	大正十五年一月十日附	附屬書	通
主管	主任	正校(原稿)	淨書
歐米局長	大正十五年一月十日	一月十日	一月十日

MT 1710372 487

1-1968

0306

印

2/26

東京

印

東京

幣外務大臣宛

田中大佐宛

山田ヨリ

山田ヨリ

二月七日

外資電力の趣旨依り交渉の爲に最低賃銀

同の双方の意見に大なる隔隙ありて交渉の見込み

尙尙懸念あり最低賃銀の決定迄六月一日迄

労働賃銀及待遇等現在に於て繼續交渉團體契

約締結の際併し最低賃銀の決定ハトシ左

記條件に協定し九日調印ハトシ

中、若年労働者保護ハ

団体交渉

2/26

(一) 労働者側が実施する

(二) 労働者側が賃銀食料品其他の物質の値段

(三) 本協定に關し争議発生の際ハハトシ

調停に依リテ

(四) 本協定ハ三月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(五) 本協定ハ續行ハハトシ

(六) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(七) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(八) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(九) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(十) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(十一) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(十二) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(十三) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(十四) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(十五) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(十六) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(十七) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(十八) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(十九) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

(二十) 本協定ハ六月一日ヨリ實施シ六月一日迄有効

MT 1710372

490

MT 1710372

489

1-1968

0307

大正十五年一月十三日

在露日本大使館氣付
新井三郎宛

中里

電文案

契約第十條採掘地區ノ「マトウ」油田南方基點上總掘第一號井ヨリ
西方ノ距離ニ誤記アリ一五二〇、八五露尋八一四一三・三五露尋ノ
誤リト思ハルルニ付右訂正方ヲ先方ニ對シ照會ノ上先方ヨリ書面ニ
テ回答セシメ置クト將來ノ爲メ必要ナルニ付可然取計ヒアリ度シ

(已號用紙)

外務省

MT 1710372

491

1-1968

0308

寫送先

門類	7
項	10
號	

大臣 次官
電信課長
亞細亞 通商 條約 人情 文書 會計

大臣 次官

電信課長



延



1941 (暗) 18

莫斯科發 本省

大正十五年二月六日 前二二三〇

幣原外務大臣

田中大使

493

大正十五年貳月拾日 記録係受

一月十九日貴電ニ付シニ日夕利権委員會ハ
雪方ノ申出ニ全然同意ニ誤記訂正ノ旨回答
アリ 相席文ハ 誤文ト書ニ後送ス

MT 1710372

門類	1
項	7
號	10

大臣 次官
電信課長
亞細亞 通商 條約 人情 文書 會計

大臣 次官

電信課長



延



1058 暗

莫斯科發 本省

大正十五年三月十四日 前四四五

幣原外務大臣

田中大使

第五四号 (三月日後) 貴電才ニ三号ニ突シ

大正十五年貳月拾日 記録係受

本件石油輸去才ニ突スル交換公文ニ依リ報償
金以外利權契約規定ノ課金ヲ支拂フノ旨ヲ
キヤニ思考スルニ付我方支拂金ニ先テ以テ之ヲ
報償金ノミト思考スベキニ依リ取申合置アリ
タシ

件名

綴込名 極席ヲ領シテ之ニ當ル利権

改二

MT 1710372

492

二月十日
東京
田中



五月 幣原外務大臣
二月六日 莫斯神後
二月六日 前
一月十九日 貴電ニ對シニ日夕利権委員會ハ
貴方ノ申出ニ全然同意ニ誤記訂正ノ旨回答
アリ 元サインハ 談文ト若ニ後送ス

新井ヨリ中里へ

二月十日

逓送

田中大便

田中

二月十日

二月六日

田中

MT 1710372

494

1-1968



要再

暗

電送第 四 / 040 號

大正 年 月 日 時 分 發

門類
項
號

依頼電報
吹水辰辰拂

電報
吹水辰辰拂

電信課長	宛	件	管主
	要目付 第四〇號	石浦利権 同件	任主 大正十五年九月廿五日
電信案	中 里子 新井	石浦利権 同件	名込級
	山下 又ノト	莫斯利 利権交渉	大正十五年九月拾參日 記録係接受
外務省			

MT 1710372

495

1-1968

0311

大正十五年二月十五日

モスコイ日本大使館氣付

新井三郎宛

電文案

利權契約ノ譯文公表ニ對スル利權本部ノ意嚮ヲ聴取シ其結果ヲ返ア

中里發

MT 1710372 496

指込内要字

電信課

1-1968

0312

電信課長

大臣

次官

門類
項
目
7
10

亞細亞
歐米
通商
條約
人情
文書
會計

件名	
綴込名	極急

莫斯科急
着

大正十五年
三月廿六日
三月廿七日

大正十五年三月廿六日記録係受

幣外務大臣の田中使

第六九號(十六日後)

新井ヨリ中里へ

利權本部ハ邦訳文ノ公表差支ハナ

キ旨ヲ答ヘタリ

寫送先

MT 1710372

497

1-1968

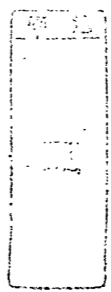
0313

東京

新井ヨリ中里へ
利権本部ハ邦訳文ノ公表 差支ハナ
キ旨ヲ答ヘタリ

第六九號

幣原外務大臣

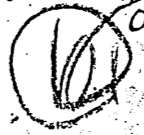


田中大使

1540 暗 12 莫斯科
本省 着

大正十五年二月十七日 辰七時

物指 石



MT 1710372

498

1-1968

0314

呼英

歐

13

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(乙) 號用紙 國印

MT 1710372 500

外務省

公文 案 為在件在招標 回答アッワンに答フリ 事業に於て 附カ 但書に於ては 返書の上記に 本件と同じ 四中に於て 部外に来 不願ハシム 在在答ハシ 送 附カ 利権契約書 以高島に同之件		受 信 人 名 北原 中里 筆次	發 信 人 名 高島 紙生 司 長 石 助	主 任 歐 文 書 課 長 大正十五年二月拾九日發送 淨書 (起草 大正十五年 月十八日) 大正十五年二月拾八日接受 (甲 號用紙)
---	--	---------------------	-----------------------------	---

MT 1710372 499

外務省

1-1968



レ

如暗使 莫斯科科恩
大正十五年二月七日 原中書

幣原外務大臣 田中大使書

第六九號

新井ヨリ中里へ
利權本邦邦交ノ公表差支ハナ
キ官報後在部ヨリ

中里
石炭子何志ハ

MT 1710372 501

1-1968

0316

門
類
項
目

寫送先

大臣
次官
傍

電信課

亞細亞 通商 條約 人情 文會 米商 報事 計畫

件名
綴込名 莫斯科利権

748
1748
15
莫斯科
大正十五年二月二十三日
田中大使

要目録
第八号 (二十三日)

新井三郎中津代表

二月十日英照會一件、十六日差支一ナキ旨
田中セリ、十二日一件ハ先方ヨリ解答
次方電報ス

大正十五年 貳月廿六日 記録係

MT 1710372

502

1-1968

03:17

文書課長 長 信 案

大正十五年九月九日 接

文書課發送 大正十五年 季月拾日 發送済

淨書

正校原稿

淨書

主 管 歐米局長

任 主 歐米局長

大正十五年九月拾日

附 録

通

受信 在ハロロニス

人名 川角惣領子代理

人名 鈴木惣領子代理

件名 北樺太、石油及石炭利権契約書送附ノ件

大正十五年九月拾日

發信 敬中 大長

級 達 莫斯利利権交換

級 達 北樺太

中火電

第廿五路 (ハロロニス) マリテ市丰越アリル

北樺太

利権契約中 大記 不取敢 送附ス

追而 吉業者、希望 本件契約書、機密扱トナセ

門 1/7
類 10
項 10
號

機密

與再回

公 信 案

外 務 省

(乙 號 用 紙) 圓 納

記

一、石油利権契約書 露 原文

一 部

一、北サカレン、石炭企業組合 (三菱国保)ノ石炭利権契約書 露

原文及邦譯文

各 一 部

本件諸文書 其係 添附ノ事

MT 1710372

504

外 務 省

MT 1710372

503

1-1968

03:18

1844 暗 36

巨港 茂

本邦有船主五年二月廿七日前六〇〇

幣原外務大臣

鈴木總領事代理

第三一號

廿六日「アホルチン」本官ヲ未訪利権契
約才三四條ニテ外像ノ運用ハ地方郵政官
憲ノ監督ノ下ニ企業者ニ之ヲ許可ストノ
規程アリト指摘セルカ本官ハ利権契
約書ヲ有セカル処果シテ右規程アリ
中御田電報成リ度ノ為ホ勞農官憲ト
交渉上必要アルニ依リ利権契約書(三葉

坂井石油組合ノ稟文及譯文至急
申送付相成様致シタシ

MT 1710372

506

MT 1710372

505

1-1968

03:19

2099 暗 4 哈 底 護
本 省 署 大 正 十 五 年 二 月 六 日 給 文 四 〇
幣 原 外 務 大 臣
川 市 總 領 事 代 理

第 六 四 號

今 後 南 洋 島 嶼 小 島 農 山 官 憲 十 回 各 種 同
題 難 事 之 事 無 不 日 日 考 慮 者 一 利 益 擁 護
為 大 路 國 則 交 涉 一 際 他 國 有 人 之 作 出 樣
大 利 權 要 約 綱 目 一 原 文 無 誤 文 飾 運 万
可 然 御 意 計 之 請 下

幣 原 外 務 大 臣
大 正 十 五 年 二 月 六 日

MT 1710372 507

1-1968

0320

機密

門類 14
項 10
號

至急特使
要回

文書課長 文書課

大正十五年參月廿九日接獲

別紙

(甲號用紙)

文書課發送

大正十五年參月卅日 發送齊

淨書

(印)

正(原稿)

(淨書)

主 歐米の長

任 歐米局長

大正十五年三月廿九日

(印)

(印)

機密 第一

五八九號

大正十五年三月三十日附

附屬書

通

受信 北辰今氣付
人名 中里重次

發信 廣田政未局長
人名

件名 依頼電報送附、件

級 大正十五年九月拾參日記錄係接受
名 莫斯科紗機支隊

今般在莫斯科 田中大使了 別紙字、通了電

報 アリソンニ付右云ニ送附ス

公 信 案 (別紙) 田中大使奉電中一三節訂立通字取一了停

外 務 省

MT 1710372

508

1-1968

0321

三

3619
(暗)
25/24

莫斯利殺
本者着

大正十五年三月廿八日 前十一



學

幣原外務大臣宛在莫斯科 中大使

第十一号

新井ヨリ中里氏宛に送る

宛電報

ムサトフ一人ノ言ハリ楯トシ辱ヲ指促スルモ未ダ
認可無シ。利権本部ハ廿一日會議ヲ開キ最後ノ
決定ヲ爲ス由ニ付却テ了業ヲ請テ歸朝ノ日ハ右
電報送ル

MT 1710372 509

1-1968

0322

53

門類
1
10

寫送先

會文人情條通歐亞
計書事報約商米亞

大臣
次官
傍

電信課長

3334
陸
64

件名
綴込名 薩哈遊抄稿

改一

莫斯科 四月四日五〇三
本若着 志五年四月九日前九四〇

幣原石良

田中大使

大正十五年四月廿六日記録簿裏

第一 二五號 (八日後)

新井ヨリ中里へ

四月三日利権本部ヨリ漸ク回答アリシ
毛利権者：地質調査隊行ノ権利ヲ提
供スルコトハ協約十二條ニ記載ナク同條ハ
却テ政府ハ利権者：利権者トノ合意ニ依

リテ政府が決定スル其ノ地域ヲ提供スト
ノ意志ヲ明示スルモノトシ且ツ両当事者
ノ契約遵守ハ互々ナル相互關係ノ好キ
保障ヨリトシ同部ハ右方ノ請願ニ副ハン
トスル全幅ノ希望ヲ有スルモ右ハ同條ニ
違背スル為メ組合ソ満足セシムルコト能ハズ
ル旨申上ルル案スルニ先方ハ右方ハ先
テ調査ヲ為シ優良ノ場所ヲ選定セバ
ハト願慮スルト同時ニ樺太調査隊編
成準備未了ニテ故意ニ案件ヲ曲解
遷延セシムルモノニアラズ力不取敢回電
ス至急何分ノ御指示ヲ請フ

MT 1710372

MT 1710372

510

1-1968

0323

電信課長

大臣

次官

亞細亞 米 商 約 報 事 人 情 條 通 會 文 計 書

門類 1/4 項 10 號

寫送先

件名

綴込名 薩哈連利橋

次一

3427 (略) 22 莫斯科發
四月六日 右五二七
四月七日 右三三五

幣原外務大臣 田中大使

第十一九號(六日付)

行井ヨリ中里へ

大正十五年四月廿六日記録係

六日「ハチヤトリヤン」ハ代表出遣三衆
シ右ハ不日開催ノ芳働大層ニ於テ
議定ノ上詳細回答スルモ五月十
五日以前ニハ絶対不可能ナル旨言明
セシニ付仰諒承テ請フ。

MT

1710372

512

電信課長

大臣

次官

亞細亞 米 商 約 報 事 人 情 條 通 會 文 計 書

門類 1/4 項 10 號

寫送先

件名

綴込名 薩哈連利橋

莫斯科發
本省着

四月十六日 右五二七
四月十七日 前六三〇

大正十五年四月廿六日記録係

幣原外務大臣

田中大使

第十一三九號(十六日後)

新井ヨリ中里へ

樺太調査委員ノ代表トシテ「ア
ラ」地ヲ出發ス 委員ノ數 目下
不明ナルモ一行ハ四月廿八日 出發ノ條
定ニテ「ア」モ本行「ス

MT

1710372

513

要再回

急

門	7
類	7
項	10
號	

✓

文書課長

公 信 案
大正十五年四月 七日接

別紙

121

文書課發送

大正十五年四月八日

淨書

正(原稿)

八室

(淨書)

主 管 歐米局長

任 主 歐米局長

(起草大正十五年四月七日)

日 附

附 屬 書

通

普通

第 二 五 九 號

大 正 十 五 年 四 月 八 日

日 附

附 屬 書

通

受信 北辰會

人名 中里重次

發信 廣田政米局長

人名 廣田政米局長

莫斯科駐日大使館

件名 依頼電報送付ノ件

大正十五年九月拾日記錄係接受

在莫斯科田中大使ヨリ別紙寫ノ通電報有之タルニ

付右茲ニ送付ス

田中大使來電第一九号寫送付ノ件

公 信 案

外 務 省

514

MT 1710372

1-1968

0325

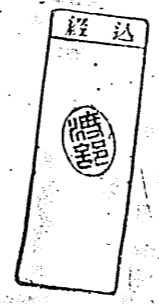
三

3月(略) 本省 着 大正五年四月七日 在 東京

幣 外務大臣宛 田中 大使宛

第十一九號

新井ヨリ中里へ在 通



六日ハチヤトリヤシハ代表 收道ニ 衆
議定ノ上 詳細 回答スルニ 五月十
五日以前ニ 絶 対 不 可 能 ナル 旨 言 明
スニ 付 申 諒 承 才 請 下。

次

MT 1710372

515

1-1968

0326

要再回

門
類
項
號



公 信 案	文 書 課 發 送	主 管 歐 米 局 主 任	機 密 第 三 五 〇 號	大 正 五 年 二 月 十 五 日	附 屬 書 通	淨 書 正 校 原 稿 淨 書 附 屬 書 通	112
		受 信 人 名 北 島 金 子 中 理 重 次	發 信 人 名 廣 南 政 米 局 長	大 正 五 年 九 月 拾 陸 日 記 録 保 接 受	附 屬 書 通		
外 務 省	歐 米 局 一 部 送 付 の 了 り	電 報 送 付 の 了 り	電 報 送 付 の 了 り	電 報 送 付 の 了 り			

MT 1710372

516

文書課長
公
信
案

112

1-1968

0320

秘

二月十日 署名 電

田中 吉 氏 電

中野代 素へ 新井 子 氏 宛

二月十日 署名 電 件 (本 書 中 地 域 係)

先 方 子 回 答 下 り 電 報 二 月 十 日 一 件

~~電 報 知 照 会 事 件~~ 十 日 署名 電 十 日 宛

電 報 下 り

外 務 省

MT 1710372

517

1-1968

0328

田中

1748 田中 15 莫斯科 著 大正十五年二月二十四日 前 0.00

駐外務大臣 田中大使

中野 莫斯科 第一号

大

新井ヨリ中軍代表
二月十五日英照一會一件 十六日差支一十キ上旨
回電セリ 十二日一件ハ先方ヨリ 田

内務省 報ス

MT 1710372 518

1-1968

0329

文書課長
大正十五年四月廿日發送済

(甲號用紙)

文書課發送

主 管 歐米局長

主任 歐米局長

淨書

正(原稿)

(淨書)

機密第五

大正十五年四月廿一日附

附屬書通

受信 在浦南
人名 渡辺總領事

發信 幣原外務大臣

件名 北樺太石油及石炭利権
契約字送付件

名 込 級 石油
大正十五年九月拾參日記録係接受

貴電才一〇九號ヲ以テ御申越アリタル北樺太石油及

石炭各利権契約九記通リ送付ニ付御査収相成

要目

門 領 項 號
7 / 10



公 信 案

外 務 省

(乙號用紙) 圖納

追而 貴書者、希望ニテ、本件諸契約ハ、当分

機密扱トセラレテ

記

一、露文 石油利権契約書 一部

二、露文 北サカレシ石油企業組合、石炭利権契約書

及同邦訳文

各一部

三、邦文 坂井組合、石炭利権契約書、同附圖並同契約

外 務 省

MT 1710372 520

MT 1710372 519

1-1968



要再回

急。

門類	7
項	10
號	

要目付

公文書課發送 文書課 文書課長 文書課長	主 管 歐米局長	受 信 北辰會	發 信 廣田政未局長
	主 任 歐米局長	受 信 中里重次	發 信 廣田政未局長
普通第 四五 號	大正十五年四月十七日	附 屬 書	通
大正十五年四月十七日	大正十五年九月拾參日記錄係接受	名 込 級	大正十五年九月拾參日記錄係接受
件 名 依頼電報送付件	件 名 依頼電報送付件	名 込 級	大正十五年九月拾參日記錄係接受
今般在莫斯科田中大使ヨリ別紙字ノ通リ電報	今般在莫斯科田中大使ヨリ別紙字ノ通リ電報	今般在莫斯科田中大使ヨリ別紙字ノ通リ電報	今般在莫斯科田中大使ヨリ別紙字ノ通リ電報
アリタルニ付右茲ニ送付ス	アリタルニ付右茲ニ送付ス	アリタルニ付右茲ニ送付ス	アリタルニ付右茲ニ送付ス
別代田中大使末電才ニ九路証通字取寄添付	別代田中大使末電才ニ九路証通字取寄添付	別代田中大使末電才ニ九路証通字取寄添付	別代田中大使末電才ニ九路証通字取寄添付

MT 1710372

522

露文才十号及才十四号中ノ部字 各一部

以上

別代 本件各文書其係
係付ノ事

MT 1710372

521

1-1968

0331

671 #6363

1/10
10
10

寫送先

文
人
情
條
通
商

會文人情條通歐亞細亞
計書事報約商米

次官
大臣

電信課長

4311
暗
30

本者著

大正十五年四月三十日
四月三十日午後三時

件名
綴込名 薩哈條利権

幣原外務大臣

鈴木總領事代理

大正十五年五月廿壹日記録係受

第七八号(三十日後)

「ア」一言ニ依レハ「オ」油田境界確定委員及賦産評價委員ノ内或一部ハ既ニ当地ニ到着シタルモ他ノ大部ハ五月十二日浦汐榮汽船ニテ当地ニ来航シ「コ」陸路「オ」ニ至ルカ若ハ六月下旬

申込後「オ」直行ノ汽船ニテ当地ニ至

MT 1710372

524

MT 1710372

523

1-1968

0332

文書標
第 7 / 號
16. 5 4.

會計課長

電信課長

歐米局長

公第六三號

大正五年八月十七日

歐米局

送名

石山

在ハバロフスク

總領事代理 川角忠雄

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

大正五年八月 七日 記 録 簿 第 〇 〇 〇 〇

依頼人電信料ニ関スル件

貴電第七號ニ関シ在亞港鈴木總領事代理ハ此ノ種
電信ノ料金ヲ常ニ依頼者ヨリ徴收シ居レル趣ナリ
尚本官ニ於テモ同様ノ取扱ヲ為シ居レルニ付為念此段
申添ニ

在ハバロフスク日本總領事館

MT 1710372

525

1-1968

0333

寫

大正十五年四月十四日發

哈府 川角總領事代理

幣原大臣

署第ニ七號

貴電第一〇五號及第一〇六號電信料当業者拂トセ

レタシ

「アレキサンドロフスク」へ轉電アリタシ。

駐哈總領事

(美濃半裁野紙) 四角

外務省

MT 1710372 526

1-1968

0334

54

寫送先

1/10

會文人情條通歐亞細亞
計書事報約商米亞

大臣
次官
信

電信課長

4521
124

件名
綴込名 自露利権交渉

莫斯科
本省着
大正十五年五月七日午前八時

大正十五年五月廿壹日記録係接受
田中 大使

第一六一号(六日後)
貴電第三三号ニ関シ
外務部ヨリ在ノ要領ノ回答書ヲ送附ニ越セリ
(一)搬出石油ノ數量及比重等ニ就テ我方申
入ハ異議ナシ
(二)「バレル」ノ價格ハ加州ニ於テ九月廿一日前
一弗ニ五仙 九月廿一日ヨリ一弗一〇仙トナル処
本年搬出ハ九月八日ヨリ全二十六日ノ間ニ行

MT 1710372 527

ハレタルニ顧ミ平均一弗二一仙トス
(三)比重一九・八ノ石油一佛噸ハ六・七五「バレル」
ニ相当スルヲ以テ報償額ハ二百五弗トス
(四)輸出税ハ之ヲ課税セス又一般規則ニ從ヒ支
拂ハル可キ其他ノ租税及公課ニ関シテハ支拂
ヲ簡便ナラシムル為利権契約ノ規定ニ基キ
右ニ相当スル額ヲ全輸出ノ三・八四「バレル」
即チ六百八弗九三仙トスル事ニ合意ナリ
(右文言ニ拘ハラス計算ニ於テハ利権契約條
項ノ通全輸出ヨリ報償ヲ控除セルモノヲ
基ニ準シ居ルモノト認メラル)

(五) 洲崎ノ納入セル布度税 船舶税 及 燈火税ハ

MT 1710372 528

1-1968

0335

(四) 金額ヨリエラ差引クヘキコト但ニ其納入
 金ハ納入当日ノ莫斯科株式取引所ノ相場(一
 弗一留九四五替)ニ依リ米債ニ換算シテ合
 計千四百五十一弗四拾ニ仙
 (六) 支拂金ハ米債ヲ以テ浦朔国立銀行支店ニ
 拂込マレ度キコト
 本件ハ右ニテ解決ト適当ト認メラル、如何分ノ
 儀御回電有度シ

MT 1710372

529

1-1968

0336

55

寫送先

1/10

會文人情條通歐亞細亞
計書事報約商米亞

大臣 官傍

電信課長

4566 暗 45

莫斯科發 五月七日午後三時
本者 著 大正十五年五月八日午前七時

件名 綴込名 薩哈連利権干渉

改通

幣原外務大臣

田中大使

大正十五年五月拾五日記録係受

第一六四号(七日前)

北樺太輸出石炭問題ニ関シ外務部ヨリ往電第一六一号ノ回答書中ニ此際輸出石炭ニ関スル支拂向題ヲ提
起シタトノ趣ヲ以テ(一)右石炭ノ数量(二)サガレンノ日價格及回報債ノ支拂ハ金錢ニ據リ得可キヤ否ヤノ

MT 1710372 530

矣当業者ニ付向合セ有度キ旨申添
ハ未レリ 右搬出石炭トハ如何ナル範
圍ノ物ヲ指スヤ不明ナルモ右ハソノ聯邦側
ノ全意ヲ得テ客年未搬出セルモノノ之
ニ関スレトト前記諾矣回電有度。

MT 1710372

531

6716.6362

大臣

次官

電信課長

亞細亞

通條

人情

門類
項
號

會文人

計書事報約商米

寫送先

56

件名
綴込名 日露利權交渉

4591 晴 157

莫斯科發

七月廿四日

本署着去十月廿四日

大正十五年五月廿日 記録係接受

濱原外務大臣

田中大使

第一六五部 (七日前)

極密公算七八部 往信之圖に外務部より利
権契約に依る以外、銀行より利権契約締
結後継続するハソノ聯邦ノ法律及北京條
約に及ぶ從テ當該地方官憲に對シ當業
者共、銀行ヲ中止スル様措置方訓令セルカ
ソノ聯邦政府ハ北薩哈連、故テ冬季交通
杜絶スル特殊事情ト日本側ノ希望トニ願

當業者が作業中止セル際現ニ有る石炭
ハ利権契約規定ノ租税及板償ヲ支拂ヒ
事情ノ許ス限リ速ニ之ヲ輸出シ得ベキトシ
認めル旨語ニ本件地区ニ存在スル財産ニ付テ
ハ右ハソノ聯邦ノ所有ニ屬シ之カ屬分權ヲ
當業者ニ認めルコトヲ得サル旨回答セテリ
就テハ
(一) 查算書第八七号ニ依レバ銀行継続ハ口ガ
トイヘニ付テハ、強ク廣ク越タルカ右回答ニ依
レバ之ニ對シ既ニ中止ノ命令アリ且主ノト
認メラル、處理ニ如何ナル事情ニ依リヤリ
同示アリタシ

MT

1710372

533

MT

1710372

532

1-1968

0338

(三) 財産處分権ノ点ニ付テハ石油及石炭國
 係ノ所有権問題トシテ客年(往電)第五
 七九號ニ依ル必要資料ノ運付ヲ待テ
 之ガ解決ヲ計ルトシ此ノ際ノ處置トシテハ
 處分権問題ニ對スル我方意見ヲ留保ス
 ルニ止メ置ク方適當ト認レルモ何等ノ意見
 有ラズ回電アリシ

(三) 往電(第八七號)中三菱より新組合へ若
 親意へ、長々、付テハ

(一) 財産ノ引継ヲ為ストルモ現在ノ状態
 於テハソノ聯邦側ハ之ヲ認メサルニテ結局
 問題ハ三菱及ソノ聯邦間ノ所有権問

MT 1710372 534

題トシテ存スニク

(四) 新組合ガ利権地域外ノ稼行ニ關係
 有ラズカ如キ状態トナリテハ或ハ利権契
 約違反ノ口実ヲソノ側ニ與フルコトナ
 リ將來面倒ヲ起ス虞無キヲ保シ難キ
 ニ付名義親意ハ利権關係ノミ限ル者
 適當ト認リ又

(四) 利権地域外ノ稼行繼續ニ依ル石炭ノ
 輸出モ亦三菱名義ト為ス方可ナルニテ
 新組合ニ於テ輸出ストセバ或ハ三菱親
 意ノ問題ヲ起ス虞無シトセズ

就テハ是等ノ長關係者ハ可也付ヘテ了

MT 1710372 535

1-1968

0339

電信課長 藤村

大臣

次官 橋

亞細亞 歐米 通商 條約 人情 文書 會計

門 47/10 號

寫送先

件名

綴込名莫斯科利権交換

4949 暗号 莫斯科護 本省着 大正十五年五月十九日 前五三〇

幣 原外務大臣 田中大使

大正十五年六月三日 記録係接受

536

第一九一號 (十八日取) 貴電第一〇二号ニ関シ 海河搬出、オハ、原油、貯入、 新橋、芝、柳、 先才提案、通本件、支払、ヲ、為、 ス、ハ、申、入、置、ケル、ニ、付、貴、電、本、段、 通、御、取、計、アリ、タ、シ

MT 1710372

1-1968

0340

57

寫送先

會文人情條通歐亞細亞
計書事報約商米亞



大臣

電信課長

モスクワ科長
六月三日台三五
六月四日台八四

外務大臣 田中大使

件名 綴込名 莫斯科利権交渉

政

六月三日(既)ニ於テハ 聯邦人民委員
會議ハ期前労働ニ係ルニ決定案ヲ行
法シ之ヲ中執委員會幹部會ニ
廻付シタル趣ナルカ其要領左ノ角ニ
期前労働トハ自然及執候ノ係係上
六月月内從業レ得一キモノヲ云ニ右方
働ニ特ニ本業ニ定ムルモノヲ除キ一般

第二一四號

MT 1710372 537

労働法ヲ適用ス労働条件ハ一般
団体契約(総契約)又ハ個別
団体契約ヲ以テ之ヲ律スル事トシ
労働契約ノ期間ハ在期前一定
期間仕上期間及不定期ノ四種ニ分
テ労働契約ノ解除ニ付テハ予メ評
價委員會員會ノ同意ヲ要セサルニ
解雇セラルルモノハ年議手續ニ依リ
年ノ率ヲ得テ労働時間ニ元則ト
シテハ時間トシテ労働者ハ休暇ノ
権利ヲ享有ス。

(終リ)

MT 1710372

538

1-1968

0341

58

寫送先

門
電
報

會文人情條通歐亞細亞
計書事報約商米

次官
大臣

電信課長

務

電報

ハ/3

暗

暗
本者著

ハ/3
暗
本者著
八月廿七日
八月廿四日

前

件名
綴込名
打根三
石田

題一

幣外務大臣

川商總領事代理

大正十五年九月壹日

539

第一九八號 (廿七日 前)
本在茲江露大使宛電報
一五二號 (廿七日 前)
往電一五〇號 (廿七日 前)
石油側ハ我方廿六留先方
土留ト却出シ 二十六日夜ノ
於ラ 結局二十九昔ニ
本社ノ意 嚮ハ三十二留
見書

MT 1710372

リ
由

MT 1710372

540

1-1968

0342

文書課長 公 信 案

大正十五年九月拾六日 發

(甲) 號用紙

文書課發送大正十五年九月拾七日

主 任 歐米局長

普通 第二七五ノ一 號 大正 十五年九月十九日

受 信 海軍省軍需局長
人名 南支那領事局長
北樺太石油利權交渉長

發 信 廣田次長
人名 大正十五年九月廿五日 記錄係接受
綴 莫斯科利權交渉長
名 込 石油利權

御參考ノ爲別紙送付ス

(大正 年 月 日 附在 館來(往)電 普機第 號寫並附屬書寫)

北樺太石油利權交渉長

右二部一添付

外 務 省

要再回

MT 1710372 541

文書課長 公 信 案

大正十五年九月拾六日 發

(甲) 號用紙

文書課發送大正十五年九月拾七日

主 任 歐米局長

普通 第二七五ノ一 號 大正 十五年九月十九日

受 信 在露田中大使
人名 在ハロフラスクノ浦潮及臣
港若總領事 在オムニ使主任

發 信 幣原大臣
人名 大正十五年九月廿五日 記錄係接受

約訳文送付ノ件

北樺太石油利權交渉長

當省ニ於テ 翻譯シタル 北樺太石油利權交渉
約一部送付ノ件

別係本件訳文一部ノ添付ノ事

外 務 省

要再回

MT 1710372 542

1-1968

0343

59

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

人事

文書

會計

門
番
號

寫送先

録
取
簿

件名
綴込名 莫斯科利權交換 石油

12,068
暗 (X) 莫斯科利權
署名

大正五年三月拾五日記録係接受

田中大使

第五一七號

十日石油試掘地域採掘會議ハ 假ニ高議力
直ニ今纏リタリトスルニ 謝印ニハ 尚ホ最高經濟
會議及人民委員會會議ノ決定ヲ要シ 右手續ノ爲メ
三ニテモ相當日子ヲ要スルヲ以テ 此際利權契約
第十ニ條第二項ニ規定スル条件決定期限ハ是
二月一日メテ延長シタケ 然當事者側ニ於テ右

關シ大侯館ヨリ外務部ハ 手續方ニ付 謝慮ヲイタ
キ旨申出サシテ 然モ當事者ハ、レニ同意ヲ與ヘタル
趣キニ 本件ハ北京議定書(第二項)ノ規定ノ要
件ヲ考慮スル要アル所ニ就テハ 外務部宛公文
ニ以テ日本政府ハ石油會社ハソ聯邦政府ト協議
期間前記契約條項ノ条件決定期限ヲ延
長スルコトニ 莫議ナキ旨申送り先方ヲレテ 右
取旨確認ヒシハルト共ニ 當事者ヲテ 文書ニ依リ
本協定ヲナサレトスル事ニ 通牒ト認メ 就テハ 右ニ
向方ノ 莫議ニ 同意 回訓アリタル

MT 1710372

544

MT 1710372

543

1-1968

0344

門	7
類	7
号	70

寫送先

外務省

大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
人情
文書
會計

電信課長

件名
綴込名 莫斯科利権交渉
石池

12647
莫斯科茂
本省着
昭和二年五月六日
二月廿四日
大正十五年十二月廿五日
前
一五

外務大臣
田中大使

第五三四號 (廿四日付)
北樺太石狩根室地境沿邊期限延期方
件
交渉ノ結果カラハシヨリ十四日ヲ以テ北京議定書乙ニ記載セラレ其ノ後利権契約第十二條ニ規定セラレタル一年平方露里ノ地積選定方ニ付テハ現ニ利権委員会本部及當業者代表者間ニ交渉進行中ナルガ右交渉ハ所定ノ一年内ニ之ガ終了不能ナルコト判明シタル趣ヲ以テ右委員会本部ハ外交手續ニ依リ日滿議定書外務部ニ申出タリ依リ

前記ノ次第並利権契約ノ当該條項ガ北京議定書乙ニ基礎有スルモノナルニ鑑ミ本官ハソ聯邦政府ノ名ニ於テ右一年期間ヲ明年二月一日迄延期スルコトニ異議ナキ旨通告スルトノ趣旨ヲ申越シ本使ヨリ同日附テ以テ日本政府ノ名ニ於テ右ニ同意ノ旨回答スルコトナリ二十三日右公文ノ交換ヲ了セリ尚利権委員会本部ト當業者側トノ間ニ於テハ双方ノ署名セル十日ノ會議ノ口トコロルニ案件延期ノ決定ヲ記載セルニ付別ニ文書ノ交換ヲナササルコトトセリ
關係書類等御送ス

MT

1710372

546

MT

1710372

545